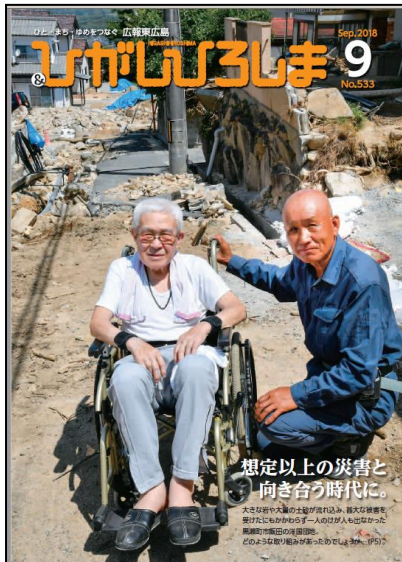


最優秀賞

東広島市 『広報東広島』（平成30年9月号）



- 発行部数(年間発行回数): 92,800部(12回)
- 担当課: 広報戦略課
- 連絡先: 082(420)0919

【担当者より】

平成30年7月豪雨災害では、東広島市内で12人の尊い命が奪われました。そして道路や建物だけでなく市民の心にも大きな傷跡を残しました。未曾有の災害直後、広報紙に何ができるのか、台風シーズンを控えて何をどう伝えれば自然災害時の避難行動を促すことができるのかを、考えて、考えて、考え抜いて構成しました。

そこで、被災者の体験や専門家の検証を通じて、避難行動を妨げる要因の一つ「日常性バイアス」といった心理面での課題をどうクリアするかを災害の記録とあわせて読者に問いかけることとしました。

また、全国各地から集まったボランティアにより、復旧作業を支援する輪が広がっていることを紹介することで、被災した市民が前を向けるような企画としました。

＝講評＝

- 災害の記録のほか、被災体験からの検証が盛り込まれており、記録としても情報としても保存版の企画だと感じた。しっかりと取材したものが丁寧に整理されていて、長文だが読みづらくない。コンセプトとうまく調和したデザイン・レイアウトになっている。
- 災害特集は様々な立場の方の証言を元にしており、今後の対応につながる記事になっている。
- 地域の現状に即した内容として読みごたえがある。重要なことを伝えたいという強い意志の感じられる文章となっている。
- 構成が明確。内容によって、デザインの印象も変えているのが良い。
- 図やイラストなどを多用し、分かりやすさが心掛けられている。お知らせ内のインデックスなど読者にとって読みやすい工夫がなされている。キャラクターの使いどころも上手。

優秀賞

安芸高田市 『広報あきたかた』 (平成 30 年 7 月号)



- 発行部数(年間発行回数): 13,150部(12回)
- 担当課: 総務課秘書広報室
- 連絡先: 0826(42)5627

【担当者より】

本市で盛んな伝統芸能「ひろしま安芸高田神楽」の見どころなどを現役団員の話も交えながら、わかりやすく解説することで、市民に関心を持ってもらうとともに、市内で毎週末開催している定期公演への来場を促すことを目的としました。

本企画の約3年前に、ひろしま安芸高田神楽の歴史や演者の思いなどを特集しています。今回は、観る側からの視点での記事内容とするとともに、親しみやすいデザインとすることで、普段神楽を鑑賞しない方にも読んでいただけるよう工夫しました。

＝講評＝

- 神楽特集は親近感のある表現。地域の伝統文化がわかりやすく紹介されている。
- 今さらだけどなかなか知らない人も多い神楽の楽しみ方をあえて紹介するのは良い企画だと思う。普段神楽に触れていない人がとっつきやすい内容。
- 砕けた文章でユーモアを含ませながら表現しているので、神楽を身近に感じることができる。
- メリハリがあってとても読みやすい。若い人の活気が伝わってくる。
- ポップなデザインとイラストの多様で若年層が興味を持つような作りになっているのが良い。コラムなど常設のコーナーのデザインも可愛らしく、読み易い。優しい色使いも良い。